

第2号様式(第3条関係)

運 転 事 故 等 届 出 書

軌道経営者名

運輸局長 殿 年 月分 提出 年 月 日

発生日時	事故等種類	場所	都道府県	原因	概況	車両影響			死傷者数								衝撃物	踏切道名	踏切種別	再発防止対策	備考		
						運休	遅延	最大遅延	乗客		旅客		係員		公衆							計	
									死	傷	死	傷	死	傷	死	傷						死	傷

(日本工業規格A列4番)

- 注1. 発生日時順に記入すること。
2. 輸送障害及び第2条に規定する事態(以下、この様式において「インシデント」という。)が併発した場合には、同じ行に記入すること。
3. 事故等の種類等に応じ、車両影響から備考までの欄については、関連のない欄には記入する必要はない。
4. 各欄には、以下の要領に従って記入すること。
- 「発生日時」：発生日日時を記入すること。
- 「事故等種類」：次の場合分けに従って該当する記号及び名称を記入すること。
- ア. 車両衝突 イ. 車両脱線 ウ. 車両火災 エ. 踏切障害
- オ. 道路障害 カ. 人身障害 キ. 物損 ク. 輸送障害
- ケ. インシデント
- ただし、輸送障害とインシデントが併発した場合には、各々の記号を記入すること。

「場所」：線名区間等を具体的に記入すること。

「都道府県」：事故等が発生した場所の都道府県名を記入すること。

「原因」：すべての事故等について、その事故等の原因を記入すること。

「概況」：すべての事故等について、その事故等の概況を記入すること。

「車両影響」：運休本数、遅延本数、遅延の最大分を記入すること。

単位(本、分)は、記入しない。

「死傷者数」：死傷者の分類ごとに死傷者数を記入すること。

単位(人)は、記入しない。

「衝撃物」：次の場合分けに従って該当する記号及び名称を記入すること。

a. 普通貨物 b. バス型乗用 c. 普通乗用 d. 小型貨物

e. 小型乗用 f. 特種、特殊 g. 建設機械

h. 二輪、原動機付自転車 i. 軽車両 j. 歩行者

「踏切道名」：踏切道名を記入すること。

「踏切種別」：次の場合分けに従って該当する記号及び名称を記入すること。

k. 第1種甲 l. 第1種乙 m. 第2種 n. 第3種

o. 第4種

支障報知装置が設置されている場合は、次の項目を併記すること。

1. 手動(片側) 2. 手動(両側) 3. 自動

「再発防止対策」：発生した事故等について、再発防止対策を講じた場合には、その内容を記入すること。

「備考」：事故等が特に異例な場合その他特筆すべき事項がある場合には、記入すること。